

令和5年度
令和5年6月～令和6年 5月

環境経営レポート



令和6年8月31日 発行

株式会社 森組



目次

1.組織の概要	P1
2.環境経営方針	P3
3.環境経営目標	P4
4.主要な環境経営計画	P5
5.環境経営目標の実績	P6
6.環境経営の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	P7
7.環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P8
8.代表者による全体評価と見直しの結果	P9

1.組織の概要

1)事業所名 株式会社 森 組
代表者氏名 代表取締役 森 千代子

2)所在地

(対象組織) 本社
〒823-1344 福岡県うきは市吉井町長栖1322番4
資材置場 福岡県うきは市吉井町長栖
資材置場 福岡県うきは市吉井町鷹取

3)環境管理責任者

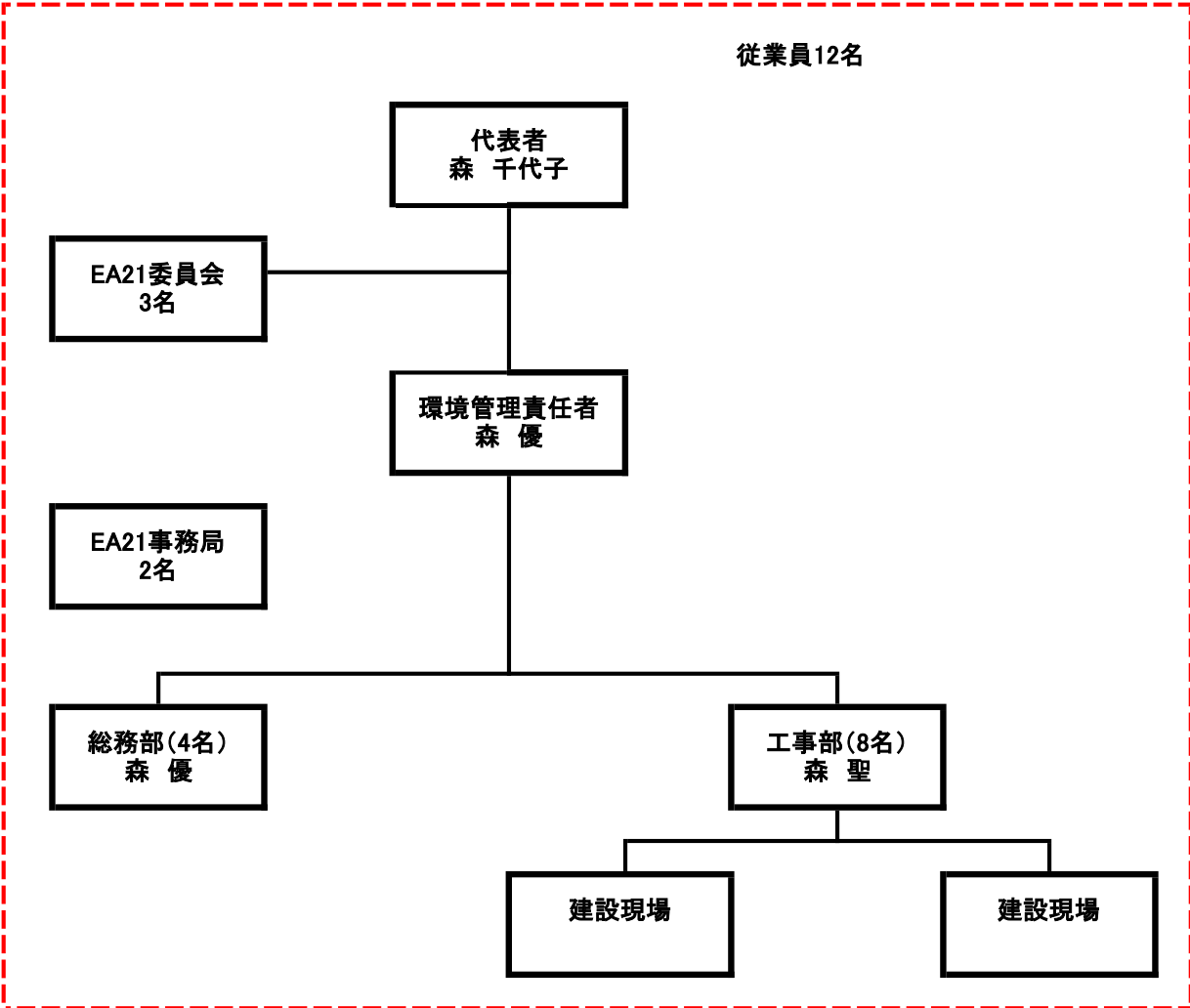
担当者氏名 代表取締役 森 優
連絡先 代表取締役 森 優
TEL 0943-75-2668
FAX 0943-75-2668
Eメールアドレス nagasu2496@friend.ocn.ne.jp

4)事業の概要 土木一式工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、解体工事業
(対象活動) 福岡県知事許可(般-2)第108937号

5. 事業の規模 (事業年度:6月～5月)

	単位	令和5年度	令和 4年度	令和 年度
売上高	百万円	165	120	
従業員数	人	12	12	
床面積	m ²	300	300	

認証登録組織(赤枠内:認証登録範囲)



2.環境経営方針

当社株式会社森組は、土木工事業を主として「地域への貢献及び環境への調和」を掲げ、全従業員が事業活動を行う際、地球環境に配慮し、継続的に行動します。

1. 次の事項の継続的改善に取り組みます。

(1) 使用エネルギー(電気・ガソリン・軽油)の節約による二酸化炭素排出量の削減

(2) 一般廃棄物のリサイクル100%、産業廃棄物(建設系)の最終処分量ゼロを目指します。

(3) 節水で水利用量の削減をする。

(4) 教育訓練を実施し、人材育成の強化をはかる。

(5) 地域貢献活動の推進

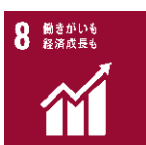
2. 関係する環境関連法規を遵守します。

制定 平成25年8月19日

改定 令和4年12月1日

株式会社 森組

代表取締役 森 千代子



環境経営目標

改定日	改定責任者	作成者
令和4年12月1日	森 千代子	森 優

環境目標		単位	該当事業所	令和3年度実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	全社	107,126	106,590	以下	106,055	以下	105,519	以下	104,983	以下	104,448	以下
					(-0.5%)		(-1%)		(-1.5%)		(-2%)		(-2.5%)	
	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	事務所	7,234	7,198	以下	7,162	以下	7,125	以下	7,089	以下	7,053	以下
					(-0.5%)		(-1%)		(-1.5%)		(-2%)		(-2.5%)	
	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	作業現場	99,892	99,393	以下	98,893	以下	98,394	以下	97,894	以下	97,395	以下
					(-0.5%)		(-1%)		(-1.5%)		(-2%)		(-2.5%)	
(1)	電気使用量の削減	kWh	事務所	5,004	4,979	以下	4,954	以下	4,929	以下	4,904	以下	4,879	以下
					(-0.5%)		(-1%)		(-1.5%)		(-2%)		(-2.5%)	
(2)	液化ガスの削減	kg	事務所	12	12	以下	12	以下	12	以下	12	以下	12	以下
					(-0.5%)		(-1%)		(-1.5%)		(-2%)		(-2.5%)	
(3)	ガソリン使用量の削減	L	事務所	2,060	2,050	以下	2,039	以下	2,029	以下	2,019	以下	2,009	以下
					(-0.5%)		(-1%)		(-1.5%)		(-2%)		(-2.5%)	
	ガソリン使用量の削減	L	作業現場	2,220	2,209	以下	2,198	以下	2,187	以下	2,176	以下	2,165	以下
					(-0.5%)		(-1%)		(-1.5%)		(-2%)		(-2.5%)	
(4)	軽油使用量の削減	L	作業現場	36,100	35,920	以下	35,739	以下	35,559	以下	35,378	以下	35,198	以下
					(-0.5%)		(-1%)		(-1.5%)		(-2%)		(-2.5%)	
2	一般廃棄物リサイクル(RDF)100%維持	%	事務所	100	維持		維持		維持		維持		維持	
	産業廃棄物最終処分量のゼロの維持 ※1	t	作業現場	0	維持		維持		維持		維持		維持	
3	水使用量(地下水)の削減	m ³	事務所	45	45	以下	45	以下	44	以下	44	以下	44	以下
					(-0.5%)		(-1%)		(-1.5%)		(-2%)		(-2.5%)	
4	会社の勉強会及び研修(環境管理、施工管理) ※2	回	全社	4	維持		維持		維持		維持		維持	
5	地域貢献活動の推進(本社周辺の清掃) ※3	回	全社	4	維持		維持		維持		維持		維持	

備考:()内の%、回は、令和3年度の実績をベースとしての削減率又は増加率を示す。なお、勉強会と地域貢献活動の回数はこれまでの実績に基づき見直した。

使用電気のCO2排出係数 0.382kg-CO2は、九州電力の令和3年度(2021年)の調整後排出係数を用いた。

※1 産業廃棄物(建設系)排出量は受注内容によるため、自社の取り組みで管理できる最終処分量0の維持を目標値とした。

※2 会社の勉強会及び研修会は、環境管理と施工管理(負荷削減)について年4回の実施を継続する。

※3 地域貢献活動は地区の一斉清掃などに合わせて、本社周辺の清掃・除草を年4回の実施を継続する。

4.主要な環境経営計画(令和5年度)

1. 二酸化炭素排出量削減のための取組(二酸化炭素排出量の1.0%削減) 責任者:森 優

(1) 電気使用量の削減

- ① 空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)(担当 高村)
- ② 不要照明の消灯(担当 高村)
- ③ 不使用機器(パソコン等)の電源OFF等(担当 高村)
- ④ 昼休み時間の消灯(担当 高村)
- ⑤ ブラインドやカーテンの使用により熱の出入りを調整(担当 高村)

(2)-1 ガソリン使用量(事務所)の削減

- ① 効率的なルートで回る。(担当 森)
- ② 夏場は暑い日中は避けて運転する。(担当 森)

(2)-2 ガソリン使用量(作業現場)の削減

- ① 機器の日常定期点検(担当 佐藤)
- ② タイヤ空気圧の定期点検(担当 佐藤)
- ③ 急発進、急加速の禁止(担当 佐藤)

(2)-3 軽油使用量(作業現場)の削減

- ① 経済的な運行ルートの策定(担当 松竹)
- ② エンジンブレーキの利用を多めにする。(担当 松竹)
- ③ タイヤ空気圧の日常チェック(担当 佐藤)
- ④ 重機の効率的な作業を行う。(担当 佐藤)
- ⑤ 無操作時のエンジン停止(担当 佐藤)
- ⑥ アイドリンクストップ(車輛・重機)(担当 佐藤)

2. 廃棄物排出量の削減 責任者:森 優

(1) 一般廃棄物排出量の削減(事務所)

- ① コピー用紙の裏紙の有効利用(担当 高村)
- ② 無駄なコピー減少(担当 高村)
- ③ 封筒の再利用(担当 高村)

(2) 産業廃棄物最終処分量ゼロの維持ー作業現場

- ① 建設廃棄物の再資源化の推進(担当 松竹)
- ② 分別を徹底する(担当 松竹)
- ③ 資材の適正、適量発注(担当 森 聖)

3. 水使用量の1.0%削減 責任者:森 亜希子

(1) 節水活動ー事務所

- ① 水道栓の常時監視の徹底(担当 森 亜希子)
- ② 洗車時の減水量を徹底する(担当 森 聖)
- ③ 水漏れ点検の実施(担当 森 聖)

4. 会社の勉強会及び研修 責任者:森 優

(1) 環境に係る勉強会をする (担当 森 優)

5. 地域貢献活動の推進 責任者:森 聖

(1) 地域での環境保全に貢献する

- ① 事務所:近隣の清掃(担当 森 聖)

5. 環境目標の実績(令和5年度)

エコアクション21を運用した令和5年6月～令和6年5月における環境目標に対する実績は次のとおりであった。(年度:6月～5月)
 ※使用電力の二酸化炭素排出量は、九州電力の令和3年度調整後排出係数0.382kg-CO2/kWhを使用して算出した。

目標	単位	令和3年実績 (基準)	令和5年度目標	令和5年度実績	目標達成の評価	
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	107,126	106,055	122,267.69	115.3%	未達成
(全社) (△1.0%)						
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	7,234	7,162	8,962.27	125.1%	未達成
(事務所) (△1%)						
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	99,892	98,893	11,305.27	114.6%	未達成
(作業現場) (△1.0%)						
電気使用量削減	kWh	5,004	4,954	6,084	122.8%	未達成
(事務所) (△1.0%)						
液化ガス使用量削減	kg	12	12	11.4	95.0%	達成
(事務所) (△1.0%)						
ガソリン使用量削減	L	2,060	2,039	2,845	139.5%	未達成
(事務所) (△1.0%)						
ガソリン使用量削減	L	2,220	2,198	3,487	158.6%	未達成
(作業現場) (△1%)						
軽油使用量削減	L	36,100	35,739	40,090	112.2%	未達成
(作業現場) (△1.0%)						
一般廃棄物リサイクル 100%維持	%	100	100	100	維持	達成
(事務所)						
産業廃棄物最終処分量の ゼロの維持	t	0	0	0.4	維持	達成
(作業現場)						
水使用量削減	m3	45	45	40	88.9%	達成
(事務所) (△1.0%)						
勉強会と研修の実施※	回/年間	4	4	4	100.0%	達成
(全社) (4回)						
地域貢献活動の推進※	回/年間	4	4	4	100.0%	達成
(全社) (4回)						

※勉強会、地域貢献は増加目標のため100%以下を未達成とした。

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 (令和5年度)

6.1 二酸化炭素排出量の削減

- ・二酸化炭素排出量の削減は、事務所及び工事現場で目標を達成出来なかった。工事量の増加による軽油等の使用量の増加が影響したと思われる。
- ・電気使用量の削減は、コロナ対策として、換気と空調を併用し、達成することが出来なかった。
- ・ガソリン使用量は、大幅に削減出来なかったため、今後努力するように。
- ・軽油使用量の削減は、重機のエコ運転などを行ったものの、工事量が多く目標を達成できなかった。
- ・液化ガス(LPG)の使用量は、省エネの徹底により減少した。今後もエコ運動を進めていく。

6.2 廃棄物排出量の削減

- ・一般廃棄物排出量は無駄なコピーをしないよう心掛け、市のリサイクル工場にてRDF処理した。このまま続ける必要あり。
- ・産業廃棄物(建設系)最終処分量のゼロの維持を、達成できるように努める。

6.3 水使用量の削減

- ・使用量は目標を達成したが、今後も節水を実行していく。

6.4 会社の勉強会及び研修

- ・環境に関する勉強会及び研修を年4回行った。今後も継続する。

6.5 地域貢献活動の推進

- ・コロナ禍や天候不良のため、実施できない月があった。事務所周辺及び作業現場周辺の月に4回の清掃活動を更に徹底するようにする。

次年度の取組内容

- ・上記の環境活動を継続的に取組む。特に工事現場の軽油の使用量については、重点的に目標達成に努める。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

環境関連法規	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	一般廃棄物委託基準の遵守	適
	産業廃棄物処理の義務	適
	処理基準の遵守	適
	保管基準の遵守	適
	産業廃棄物の保管	該当無し
	保管の届出	該当無し
	許可業者への委託	適
	委託基準の遵守	適
	管理票(マニフェスト票)の交付	適
	管理票(マニフェスト票)の写しの保存期間	適
	管理票(マニフェスト票)に関する知事への定期報告	適
	管理票(マニフェスト票)の写しの送付を受けるまでの期間	適
	投棄禁止	適
	焼却禁止	適
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	建設業等を営む者の責務	適
	分解解体等実施義務	適
	届出に係る事項の説明義務	適
	請負契約に係る書面の記載事項	適
	再資源化実施義務	適
	発注者への報告等	適
	下請負人に対する元請業者の指導	適
騒音規制法	特定建設作業の事前届出	該当無し
	規制基準の遵守	適
振動規制法	特定建設作業の事前届出	該当無し
	規制基準の遵守	適
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	使用の制限	適
	適応除外	適
	特定特殊自動車を業として使用する者が守るべき指針	適

8.代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果(令和5年度)

評価及び見直しの実施日 令和6年8月31日

代表者確認 森 千代子

評価	環境への取組は適切に実施されているか	
	・環境方針の誓約は実行されているか。	まだまだ全体の意識の向上が必要であり、軽油及びガソリン、使用量については、今後特に検討が必要である。
	環境経営システムが有効に機能しているか。	
	・ルールに基づいて行動しているか	目標を全員が理解し、役割の周知に努める。
	・目標を明確にし、取組の結果を評価しているか	
	・役割、責任等を定め、全員で取組んでいるか	

見直し	環境方針	一年間実施してみて定めた環境目標に向けて、従業員それぞれが個々で考え取り組めていたと思います。 また、次の一年もこの取り組みを徐々にではあっても続けていくことが大切であると思われます。 特に、軽油、ガソリン、使用量についての取り組みは、大事であると思われます。 軽油の目標については、工事量の減少(平年化)の可能性もあることから、R 5年度の実績をみて、見直しの指示を行います。
	●変更の必要性(なし)	
	環境目標・環境活動計画	
	●変更の必要性(なし)	
	その他の環境経営システムの要素	
	●変更の必要性(なし)	
	・環境負荷の自己チェック	
	・環境関連法規等の取りまとめ	
	・実施体制	
	・手順書	
	・教育訓練	
	・環境コミュニケーション	
	・実施及び運用	
	・緊急事態への準備と訓練	
	・取組状況の確認と評価	
	・問題点の是正処理	
	・文書及び記録の作成整理	